

2017. 8. 05

# 歴史民俗資料館だより No.120

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

## くんち資料展

会 期 8月24日(木)～10月8日(日)

展示品 くんち衣装・幕・楽器・書蹟・絵画・  
記念品・屏風など 約 100 点



紺屋町 川船船頭衣装

昭和8(1933)年 若山静枝氏寄贈

寛永11(1634)年に長崎諏訪神社の秋の大祭「く  
んち」が始まり、今年で383年となります。

長年の間に、江戸時代の大火災、昭和の戦災や  
大水害、そして町名変更などをへて、時代と共に  
7年に1度出演する踊町の数や組合せ、演(だ)し  
物の多くが変化してきました。

今年の踊町は、馬町の傘鉾・本踊、東濱町の傘  
鉾・竜宮船、八坂町の傘鉾・川船、銅座町の傘鉾・  
南蛮船、築町の傘鉾・御座船・本踊の5ヶ町です。

今回の展示に際しまして、貴重な資料を御寄贈、  
御提供いただきました皆様方と、今年の踊町の昭  
平会様を始め、関係者各位に深く御礼申し上げます。



勝山町大薩摩指物図

弘化二(一八四五)年

野川美恵子氏寄贈

### くんちの語源

重陽の節句、菊の節句の九月九日、この九  
日のくにちが「くんち」になったと言われて  
います。

諏訪神社では寛永3(1626)年はじめて神  
楽を奏し湯立神事が行なわれましたが、大祭  
の最初は寛永11(1634)年でした。この時の社  
地は、まだ現在の玉園山に移る前の円山(現、  
松ノ森神社)で、9月7日、遊女高尾・音羽の  
両人が神前に謡曲小舞を奉納。午後、神輿が  
御旅所に渡御して、8日が大祭で、御旅所で  
湯立神事が執行され、9日無事神輿は還御さ  
れました。(慶安元(1648)年・玉園山遷宮)

なお、江戸時代の太陰暦の9月は、現在の  
太陽暦の10月に相当します。



羽織型くんち手拭張り混屏風

昭和60(1985)年頃 吉村愛子氏寄贈



江戸町 兵式教練遊軍士官衣装

大正二(一九一三)年  
川添弘之氏寄贈



傘鉾飾り物(だし)造り道具 昭和55(1980)年頃  
村尾 夏子氏寄贈



愛宕焼 花器(中原仁市作 長崎土壺)  
野々村 俊明氏 寄贈

くんちの踊町の演し物がレリーフされています。  
大正時代(1912~1925)の作品と考えられます。



清水崑筆 おくんちかっぱ屏風  
昭和45(1970)年頃 清水梢太郎氏寄贈



船大工町 川船根曳衣装  
昭和52(1977)年 光永義久氏寄贈



勝山町大薩摩踊使用太鼓(くんち現存最古資料)  
延宝伍丁巳(1677)年 野川雅生氏寄贈